

## 1. 痛み

左耳ちょっと上 開けそこなつた穴  
大人になれなかつた  
まっすぐに刺したはず 貫いた針はまだ  
曲がつたまんまで  
どんなに開けたって  
どんなに痛み重ねても  
心は子供のまんまだつた

またゲージを上げたんだ 少しずつ広げる穴  
不細工な抵抗  
ぽっかりと開いた穴  
耳にも 心にも  
埋められやしない

何の為だっけ  
何がしたかつたんだろ  
わからぬまま時間は過ぎてく

痛むことで生きている  
痛みのない生活  
色のない世界  
今日もまた開けたんだ  
ふたつ みつつ よつつ 数も  
わからないほどに

何が欲しがつた  
何がしたかつたんだろ  
考える時間もないままで

こんなことなら 最初からもう  
何もせず諦めてればよかつたのに  
誰も私を 見てくれないの  
隙間埋めるために また開けるの

左耳ちょっと上 開け損なつた穴  
大人になれなかつた  
まっすぐに刺したはず 貫いた針はまだ  
私を憐れんでいるの？

ぽっかりと開いた穴  
舌にも 心にも

埋められやしない

何を探していたんだ  
何が欲しかったんだろ  
わからぬまま時間は過ぎてく  
心は子供のまんまだった

## 2. 大人になる

世間に飼われて  
与えられる餌を喰らって  
それが果たして 喰えるものか

世間に奪われて 僕らは気づかぬままで  
周りがそうなら  
それが楽なんだ

ルールなんてなくて  
規則も秩序もないままで  
無法地帯で 働かされ

血と汗で滲んだ 生きた血証搾り取られて  
お前らなんで 笑ってられるんだ

そうだ 周りもそうなんだ  
そうだ 僕だけでないんだ  
そうだ 時代のせいなんだ

そうやってまた  
甘えているんだ

僕らいつか 嫌でも大人になって  
歪んだ社会に根を張り 生きていくんだ  
僕らいつか 嫌でも子供を捨て  
大事なことさえ  
忘れてゆくんだ

人は偉くなって  
誰かを蔑んでいる  
それが憐れだと気付かずに  
まるで自分の手のひらの上で  
世界が回っているかのように

自分も誰かに  
飼われているのに

そうだ 周りもそうなんだ  
そうだ 僕だけでないんだ  
そうだ 時代のせいなんだ

そうやってまた  
甘えているんだ

僕らいつか 嫌でも大人になって  
歪んだ社会に唾を吐き 生きていくんだ  
僕らいつか 嫌でも子供を捨て  
忘れたことさえ  
忘れてゆくんだ

僕らいつか 嫌でも大人になって  
歪んだ社会に根を張り 生きていくんだ  
僕らいつか 嫌でも忘れてゆく  
何も知らないままでいいのに

僕らいつか 嫌でも大人になって  
歪んだ社会に根を張り 生きていくんだ  
僕らいつか 嫌でも子供を捨て  
忘れたことさえ 忘れるのかな

### 3. 終わりの歌

人は何故 嘘をつく  
君は何故 夢を見る  
誰もがわからぬ その答えを探しては

愛はもう 消えてゆく  
世界は 終わりゆく  
わかっていたはず 僕らはまだ  
受け入れることもできず

波はまだ 押し寄せては  
すべてをさらう  
心の中の喜び 哀しみも

人は皆 すがりつく

君は今 何処へ行く  
誰もが欲しがるとその答えを探しても  
どこにもない

波はまだ 変わりもせず  
静かに笑う  
心の中のすべてを飲み込んで

人は皆 朽ち果てる  
世界は 終わりゆく  
誰もがわからぬ その答えを探しては

人は何故 生きるのか  
僕は何故 生きるのか  
誰もがわからぬ その答えを探しても  
どこにもない

それでも僕らは 答えのないこの世界  
生きている

2012.5.12 1st デモ CD『終わりののはじまり』  
レコーディング・ミックス・マスタリング：森下徹  
作詞・作曲・演奏：葉山久瑠実